

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：河川環境課
 担当名：河川維持担当
 内線：5114

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B26	河川改修費（水辺）			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修費（水辺）	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	河川法第9条、河川法第15条の2		針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	
					分野施策	0103	治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	
1 事業概要			5 事業説明						
近年の大規模出水により県民の水害への関心が高まっている。また、護岸の損傷や河床洗掘などは、急な大雨により河川の越水、破堤等を招き、沿川や流域に住む県民・財産に多大な被害が及ぶ恐れがある。そのため、浸水実績などを踏まえ、優先度の高い箇所について重点的に河川管理施設の機能復旧を実施する。 河川改修費（水辺） △936千円			(1) 事業内容 河川管理施設の機能復旧 ア 護岸の損傷等について、法面保護等による機能復旧の実施 イ 河床洗掘により倒壊する恐れのある護岸について、根固め等による機能復旧の実施 事務費の節減による減額補正 △936千円 (2) 事業計画 損傷した護岸や法面保護などの機能復旧を行う。 (3) 事業効果 護岸等の損傷箇所を復旧することで、河川管理施設全体の安全度が向上する。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90% 交付税措置 なし 緊急自然災害防止対策事業債 充当率 100% 交付税措置 70%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		県 債							
決定額	△936							△936	2,741,064
現計額	2,742,000	2,732,000						10,000	

事業内訳書

事業名	河川改修費（水辺）		
単位事業名	河川改修費（水辺）	予算額	△ 936千円

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△152	—	事務費の節減による減
需用費	△542	—	事務費の節減による減
役務費	△242	—	事務費の節減による減
合計	△936	—	